江の川水系江の川　国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ
【現況河道】図面Ｎｏ．１　浸水発生

暫定版

浸水が想定される範囲を表示

1．説明文

（１）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／１０、１／３０、１／５０、計画規模（１／１００）、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生）を示した図面です。

（２）この水害リスクマップは、現況（令和２年度）の江の川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／１０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１０（１０%））、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３%））、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２%））、年超過確率１／１００（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１００（１%））、想定最大規模の降雨に伴う洪水により江の川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（３）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合あります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和４０年７月型、昭和４７年７月型、平成１０年１０月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

（４）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき令和２年６月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2．基本事項等

（１）公表年月日	令和４年９月２日
（２）作成主体及び対象となる河川	国土交通省　中国地方整備局　浜田河川国道事務所：江の川水系江の川
（３）実施区間	左岸：広島県安芸高田市八千代町大字土師字久保７５０番地先から海まで 右岸：広島県安芸高田市八千代町大字勝田字上谷２３２番地先から海まで
（４）算出の前提となる降雨	年超過確率１／　１０（江の川流域の２日間の総雨量　　１８８mm） 年超過確率１／　３０（江の川流域の２日間の総雨量　　２４６mm） 年超過確率１／　５０（江の川流域の２日間の総雨量　　２７７mm） 年超過確率１／１００（江の川上流域の２日間の総雨量　３０６mm）：計画規模 想定最大規模の降雨　（江の川流域の４８時間の総雨量　４４１mm）
（５）河道条件	現況（令和２年度）
（６）関係市町村	江津市
（７）その他計算条件等	計算メッシュ及び地盤高メッシュについては２５ｍを使用

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

凡例

想定される浸水範囲

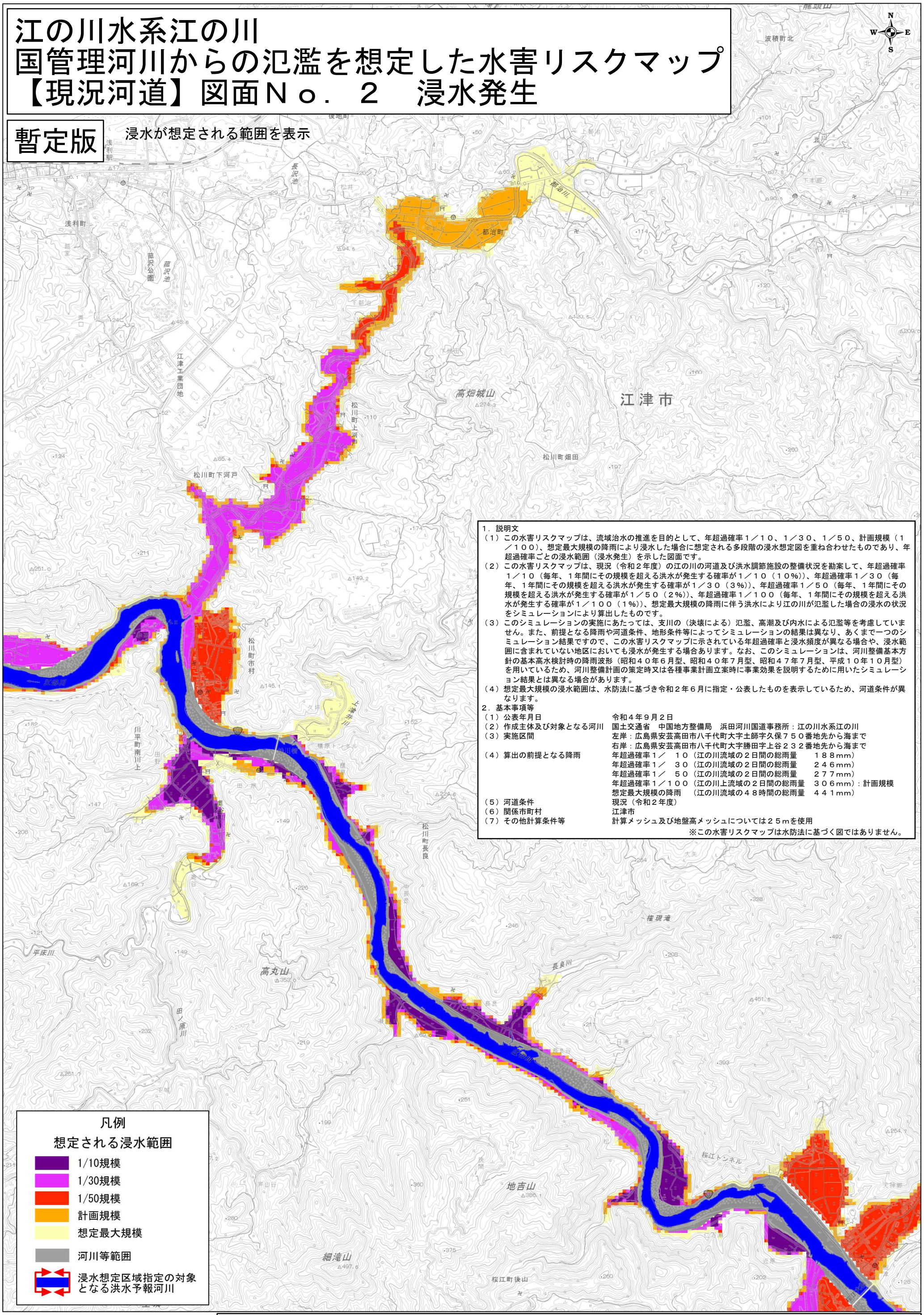
- 1/10規模
- 1/30規模
- 1/50規模
- 計画規模
- 想定最大規模
- 河川等範囲
- 浸水想定区域指定の対象となる洪水予報河川

国土地理院の電子地形図25000を掲載「測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 4JHf 101」
「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」

江の川水系江の川
国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ
【現況河道】図面Ｎｏ．２　浸水発生

暫定版

浸水が想定される範囲を表示



1．説明文

（１）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／１０、１／３０、１／５０、計画規模（１／１００）、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生）を示した図面です。

（２）この水害リスクマップは、現況（令和２年度）の江の川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／１０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１０（１０%））、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３%））、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２%））、年超過確率１／１００（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１００（１%））、想定最大規模の降雨に伴う洪水により江の川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（３）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合あります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和４０年６月型、昭和４０年７月型、昭和４７年７月型、平成１０年１０月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

（４）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき令和２年６月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2．基本事項等

（１）公表年月日	令和４年９月２日
（２）作成主体及び対象となる河川	国土交通省　中国地方整備局　浜田河川国道事務所：江の川水系江の川
（３）実施区間	左岸：広島県安芸高田市八千代町大字土師字久保７５０番地先から海まで 右岸：広島県安芸高田市八千代町大字勝田字上谷２３２番地先から海まで
（４）算出の前提となる降雨	年超過確率１／　１０（江の川流域の２日間の総雨量　１８８mm） 年超過確率１／　３０（江の川流域の２日間の総雨量　２４６mm） 年超過確率１／　５０（江の川流域の２日間の総雨量　２７７mm） 年超過確率１／１００（江の川上流域の２日間の総雨量　３０６mm）：計画規模 想定最大規模の降雨　（江の川流域の４８時間の総雨量　４４１mm）
（５）河道条件	現況（令和２年度）
（６）関係市町村	江津市
（７）その他計算条件等	計算メッシュ及び地盤高メッシュについては２５ｍを使用

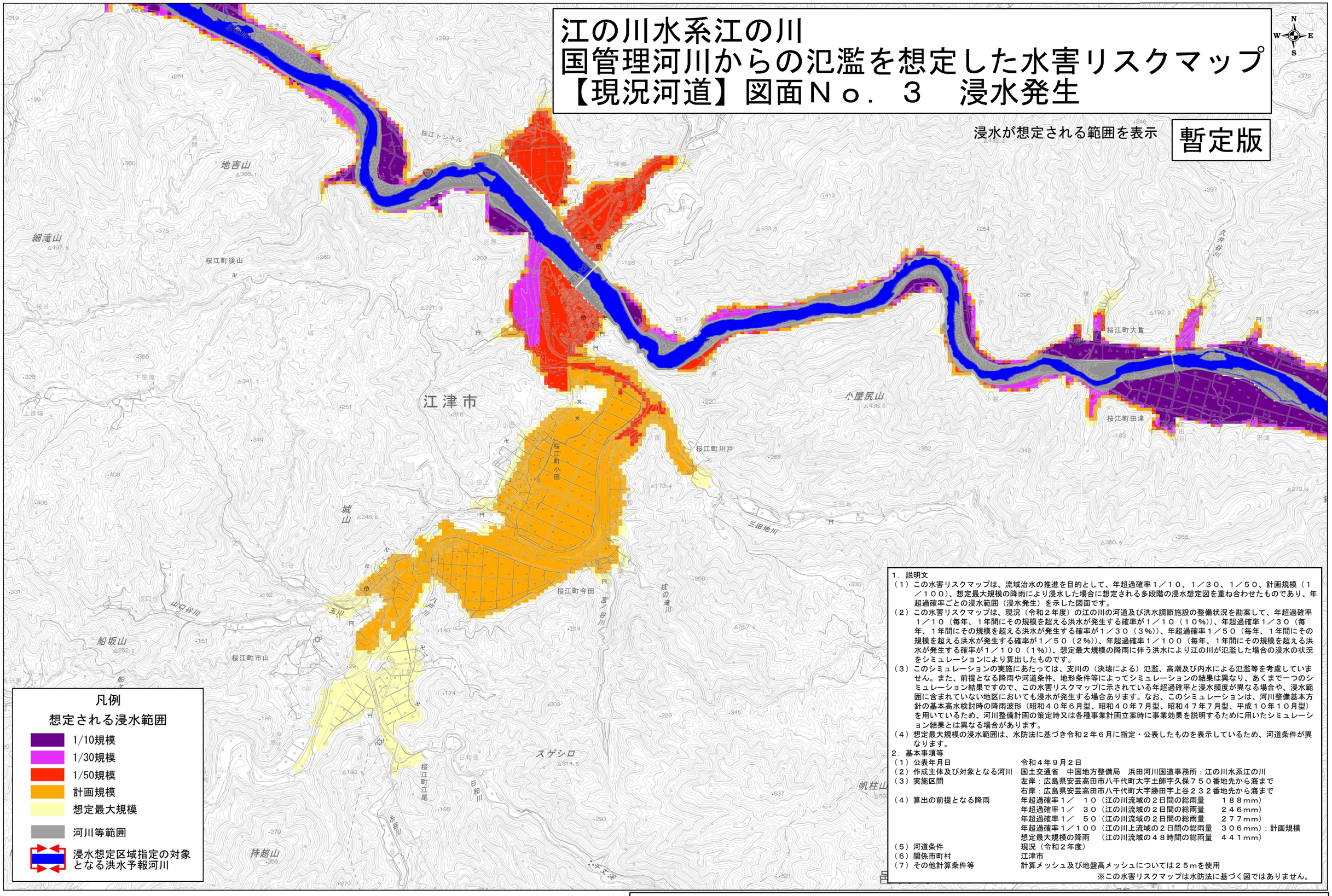
※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

国土地理院の電子地形図25000を掲載「測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 4JHf 101」
「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」

江の川水系江の川
国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ
【現況河道】図面Ｎｏ．３　浸水発生

浸水が想定される範囲を表示

暫定版



凡例

想定される浸水範囲

- 1/10規模
- 1/30規模
- 1/50規模
- 計画規模
- 想定最大規模
- 河川等範囲
- 浸水想定区域指定の対象となる洪水予報河川

1．説明文

（１）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／１０、１／３０、１／５０、計画規模（１／１００）、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生）を示した図面です。

（２）この水害リスクマップは、現況（令和２年度）の江の川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／１０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１０（１０%））、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３%））、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２%））、年超過確率１／１００（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１００（１%））、想定最大規模の降雨に伴う洪水により江の川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（３）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合あります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和４０年６月型、昭和４０年７月型、昭和４７年７月型、平成１０年１０月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

（４）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき令和２年６月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2．基本事項等

（１）公表年月日	令和４年９月２日
（２）作成主体及び対象となる河川	国土交通省　中国地方整備局　浜田河川国道事務所：江の川水系江の川
（３）実施区間	左岸：広島県安芸高田市八千代町大字土師字久保７５０番地先から海まで 右岸：広島県安芸高田市八千代町大字勝田字上谷２３２番地先から海まで
（４）算出の前提となる降雨	年超過確率１／　１０（江の川流域の２日間の総雨量　　１８８mm） 年超過確率１／　３０（江の川流域の２日間の総雨量　　２４６mm） 年超過確率１／　５０（江の川流域の２日間の総雨量　　２７７mm） 年超過確率１／１００（江の川上流域の２日間の総雨量　３０６mm）：計画規模 想定最大規模の降雨　（江の川流域の４８時間の総雨量　４４１mm）
（５）河道条件	現況（令和２年度）
（６）関係市町村	江津市
（７）その他計算条件等	計算メッシュ及び地盤高メッシュについては２５mを使用

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

国土地理院の電子地形図25000を掲載「測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 4JHf 101」
「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」

江の川水系江の川　国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ
【現況河道】図面Ｎｏ．４　浸水発生

暫定版

浸水が想定される範囲を表示

１．説明文

（１）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／１０、１／３０、１／５０、計画規模（１／１００）、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生）を示した図面です。

（２）この水害リスクマップは、現況（令和２年度）の江の川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／１０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１０（１０%））、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３%））、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２%））、年超過確率１／１００（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１００（１%））、想定最大規模の降雨に伴う洪水により江の川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（３）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合あります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和４０年６月型、昭和４０年７月型、昭和４７年７月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

（４）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき令和２年６月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

２．基本事項等

（１）公表年月日	令和４年９月２日
（２）作成主体及び対象となる河川	国土交通省　中国地方整備局　浜田河川国道事務所：江の川水系江の川
（３）実施区間	左岸：広島県安芸高田市八千代町大字土師字久保７５０番地先から海まで 右岸：広島県安芸高田市八千代町大字勝田字上谷２３２番地先から海まで
（４）算出の前提となる降雨	年超過確率１／　１０（江の川流域の２日間の総雨量　１８８mm） 年超過確率１／　３０（江の川流域の２日間の総雨量　２４６mm） 年超過確率１／　５０（江の川流域の２日間の総雨量　２７７mm） 年超過確率１／１００（江の川流域の２日間の総雨量　３２３mm、 江の川上流域の２日間の総雨量　３０６mm）：計画規模 想定最大規模の降雨　（江の川流域の４８時間の総雨量　４４１mm）
（５）河道条件	現況（令和２年度）
（６）関係市町村	江津市、川本町
（７）その他計算条件等	計算メッシュ及び地盤高メッシュについては２５mを使用

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

凡例

想定される浸水範囲

- 1/10規模
- 1/30規模
- 1/50規模
- 計画規模
- 想定最大規模
- 河川等範囲
- 浸水想定区域指定の対象となる洪水予報河川

国土地理院の電子地形図25000を掲載「測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 4JHf 101」
「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」

江の川水系江の川
国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ
【現況河道】図面Ｎｏ．５　浸水発生

暫定版

浸水が想定される範囲を表示

１．説明文

（１）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／１０、１／３０、１／５０、計画規模（１／１００）、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生）を示した図面です。

（２）この水害リスクマップは、現況（令和２年度）の江の川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／１０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１０（１０%））、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３%））、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２%））、年超過確率１／１００（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１００（１%））、想定最大規模の降雨に伴う洪水により江の川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（３）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合あります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和４０年６月型、昭和４０年７月型、昭和４７年７月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

（４）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき令和２年６月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

２．基本事項等

（１）公表年月日	令和４年９月２日
（２）作成主体及び対象となる河川	国土交通省　中国地方整備局　浜田河川国道事務所：江の川水系江の川
（３）実施区間	左岸：広島県安芸高田市八千代町大字土師字久保７５０番地先から海まで 右岸：広島県安芸高田市八千代町大字勝田字上谷２３２番地先から海まで
（４）算出の前提となる降雨	年超過確率１／　１０（江の川流域の２日間の総雨量　　１８８mm） 年超過確率１／　３０（江の川流域の２日間の総雨量　　２４６mm） 年超過確率１／　５０（江の川流域の２日間の総雨量　　２７７mm） 年超過確率１／１００（江の川流域の２日間の総雨量　　３２３mm、 江の川上流域の２日間の総雨量　３０６mm）：計画規模 想定最大規模の降雨　（江の川流域の４８時間の総雨量　４４１mm）
（５）河道条件	現況（令和２年度）
（６）関係市町村	江津市、川本町
（７）その他計算条件等	計算メッシュ及び地盤高メッシュについては２５ｍを使用

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

凡例

想定される浸水範囲

- 1/10規模
- 1/30規模
- 1/50規模
- 計画規模
- 想定最大規模
- 河川等範囲
- 浸水想定区域指定の対象となる洪水予報河川

国土地理院の電子地形図25000を掲載「測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 4JHf 101」
「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」

江の川水系江の川
国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ
【現況河道】図面Ｎｏ．６　浸水発生

暫定版

浸水が想定される範囲を表示

１．説明文

（１）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／１０、１／３０、１／５０、計画規模（１／１００）、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生）を示した図面です。

（２）この水害リスクマップは、現況（令和２年度）の江の川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／１０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１０（１０%））、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３%））、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２%））、年超過確率１／１００（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１００（１%））、想定最大規模の降雨に伴う洪水により江の川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

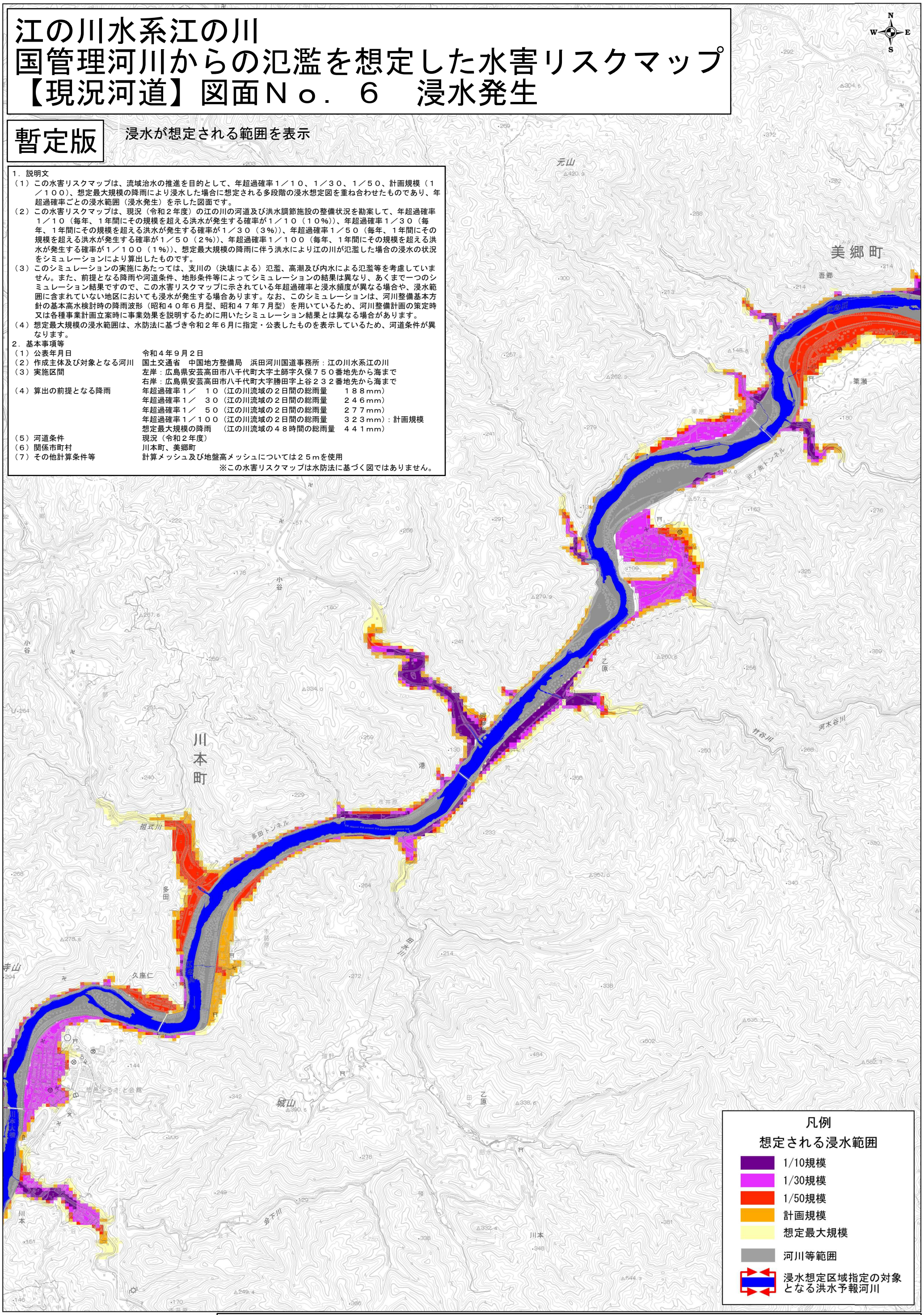
（３）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合あります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和４０年６月型、昭和４７年７月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

（４）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき令和２年６月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

２．基本事項等

（１）公表年月日	令和４年９月２日
（２）作成主体及び対象となる河川	国土交通省　中国地方整備局　浜田河川国道事務所：江の川水系江の川
（３）実施区間	左岸：広島県安芸高田市八千代町大字土師字久保７５０番地先から海まで 右岸：広島県安芸高田市八千代町大字勝田字上谷２３２番地先から海まで
（４）算出の前提となる降雨	年超過確率１／　１０（江の川流域の２日間の総雨量　　１８８mm） 年超過確率１／　３０（江の川流域の２日間の総雨量　　２４６mm） 年超過確率１／　５０（江の川流域の２日間の総雨量　　２７７mm） 年超過確率１／１００（江の川流域の２日間の総雨量　　３２３mm）：計画規模 想定最大規模の降雨　（江の川流域の４８時間の総雨量　４４１mm）
（５）河道条件	現況（令和２年度）
（６）関係市町村	川本町、美郷町
（７）その他計算条件等	計算メッシュ及び地盤高メッシュについては２５ｍを使用

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。



国土地理院の電子地形図25000を掲載「測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 4JHf 101」
「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」

江の川水系江の川
国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ
【現況河道】図面Ｎｏ．７　浸水発生

暫定版

浸水が想定される範囲を表示

１．説明文

（１）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／１０、１／３０、１／５０、計画規模（１／１００）、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生）を示した図面です。

（２）この水害リスクマップは、現況（令和２年度）の江の川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／１０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１０（１０%））、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３%））、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２%））、年超過確率１／１００（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１００（１%））、想定最大規模の降雨に伴う洪水により江の川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（３）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合あります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和４０年６月型、昭和４７年７月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

（４）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき令和２年６月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

２．基本事項等

（１）公表年月日	令和４年９月２日
（２）作成主体及び対象となる河川	国土交通省　中国地方整備局　浜田河川国道事務所：江の川水系江の川
（３）実施区間	左岸：広島県安芸高田市八千代町大字土師字久保７５０番地先から海まで 右岸：広島県安芸高田市八千代町大字勝田字上谷２３２番地先から海まで
（４）算出の前提となる降雨	年超過確率１／　１０（江の川流域の２日間の総雨量　　１８８mm） 年超過確率１／　３０（江の川流域の２日間の総雨量　　２４６mm） 年超過確率１／　５０（江の川流域の２日間の総雨量　　２７７mm） 年超過確率１／１００（江の川流域の２日間の総雨量　　３２３mm）：計画規模 想定最大規模の降雨　（江の川流域の４８時間の総雨量　４４１mm）
（５）河道条件	現況（令和２年度）
（６）関係市町村	美郷町
（７）その他計算条件等	計算メッシュ及び地盤高メッシュについては２５ｍを使用

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

凡例

想定される浸水範囲

- 1/10規模
- 1/30規模
- 1/50規模
- 計画規模
- 想定最大規模
- 河川等範囲
- 浸水想定区域指定の対象となる洪水予報河川

国土地理院の電子地形図25000を掲載「測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 4JHf 101」
「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」

江の川水系江の川
国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ
【現況河道】図面Ｎｏ．８　浸水発生

暫定版

浸水が想定される範囲を表示

１．説明文

（１）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／１０、１／３０、１／５０、計画規模（１／１００）、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生）を示した図面です。

（２）この水害リスクマップは、現況（令和２年度）の江の川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／１０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１０（１０%））、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３%））、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２%））、年超過確率１／１００（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１００（１%））、想定最大規模の降雨に伴う洪水により江の川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（３）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合あります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和４０年６月型、昭和４７年７月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

（４）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき令和２年６月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

２．基本事項等

（１）公表年月日	令和４年９月２日
（２）作成主体及び対象となる河川	国土交通省　中国地方整備局　浜田河川国道事務所：江の川水系江の川
（３）実施区間	左岸：広島県安芸高田市八千代町大字土師字久保７５０番地先から海まで 右岸：広島県安芸高田市八千代町大字勝田字上谷２３２番地先から海まで
（４）算出の前提となる降雨	年超過確率１／　１０（江の川流域の２日間の総雨量　　１８８mm） 年超過確率１／　３０（江の川流域の２日間の総雨量　　２４６mm） 年超過確率１／　５０（江の川流域の２日間の総雨量　　２７７mm） 年超過確率１／１００（江の川流域の２日間の総雨量　　３２３mm）：計画規模 想定最大規模の降雨　（江の川流域の４８時間の総雨量　４４１mm）
（５）河道条件	現況（令和２年度）
（６）関係市町村	美郷町
（７）その他計算条件等	計算メッシュ及び地盤高メッシュについては２５ｍを使用

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

凡例

想定される浸水範囲

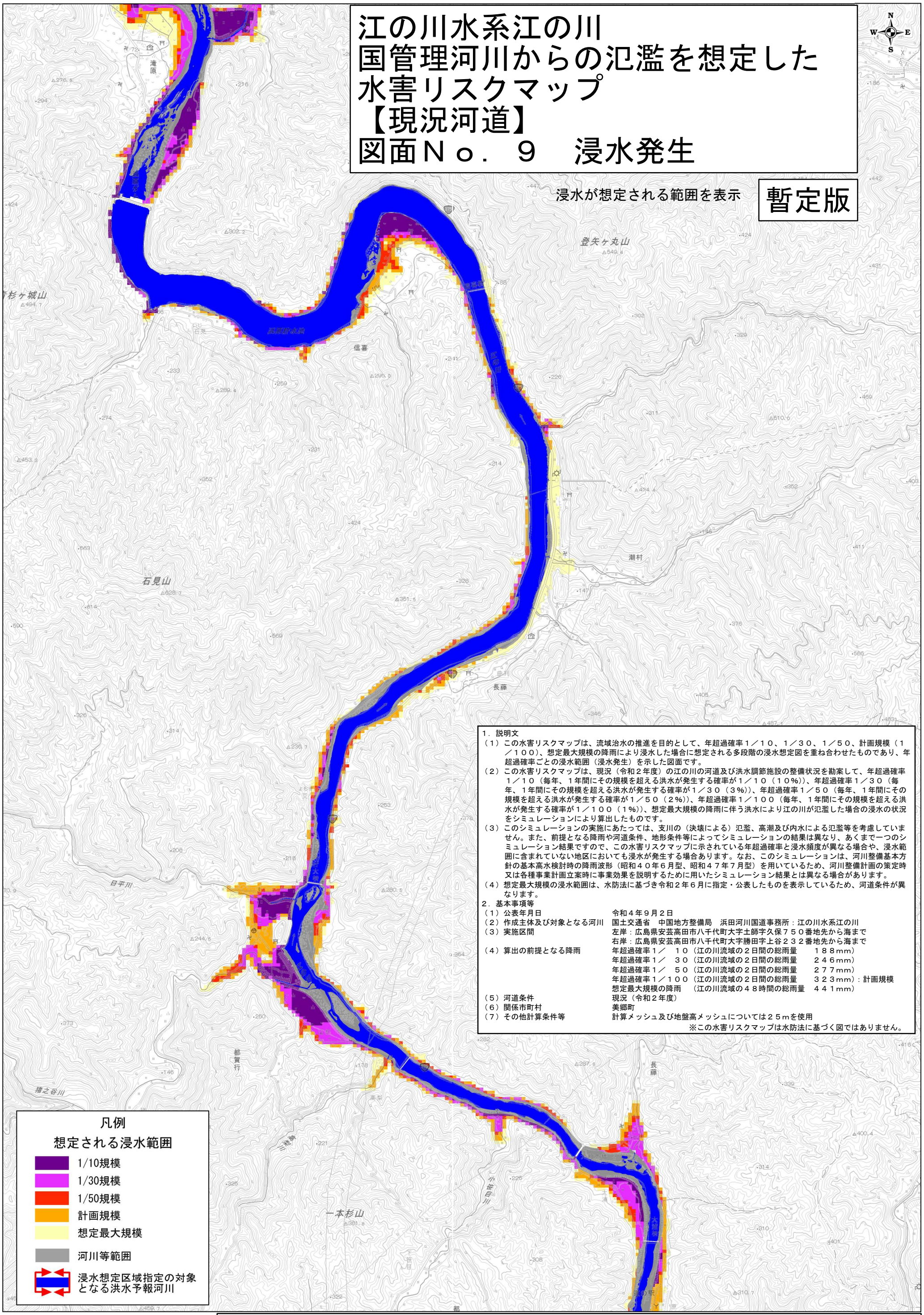
- 1/10規模
- 1/30規模
- 1/50規模
- 計画規模
- 想定最大規模
- 河川等範囲
- 浸水想定区域指定の対象となる洪水予報河川

国土地理院の電子地形図25000を掲載「測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 4JHf 101」
「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」

江の川水系江の川
国管理河川からの氾濫を想定した
水害リスクマップ
【現況河道】
図面Ｎｏ．９　浸水発生

浸水が想定される範囲を表示

暫定版



1．説明文

（１）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／１０、１／３０、１／５０、計画規模（１／１００）、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生）を示した図面です。

（２）この水害リスクマップは、現況（令和２年度）の江の川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／１０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１０（１０%））、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３%））、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２%））、年超過確率１／１００（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１００（１%））、想定最大規模の降雨に伴う洪水により江の川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（３）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合あります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和４０年６月型、昭和４７年７月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

（４）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき令和２年６月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

２．基本事項等

（１）公表年月日	令和４年９月２日
（２）作成主体及び対象となる河川	国土交通省　中国地方整備局　浜田河川国道事務所：江の川水系江の川
（３）実施区間	左岸：広島県安芸高田市八千代町大字土師字久保７５０番地先から海まで 右岸：広島県安芸高田市八千代町大字勝田字上谷２３２番地先から海まで
（４）算出の前提となる降雨	年超過確率１／　１０（江の川流域の２日間の総雨量　　１８８mm） 年超過確率１／　３０（江の川流域の２日間の総雨量　　２４６mm） 年超過確率１／　５０（江の川流域の２日間の総雨量　　２７７mm） 年超過確率１／１００（江の川流域の２日間の総雨量　　３２３mm）：計画規模 想定最大規模の降雨　（江の川流域の４８時間の総雨量　４４１mm）
（５）河道条件	現況（令和２年度）
（６）関係市町村	美郷町
（７）その他計算条件等	計算メッシュ及び地盤高メッシュについては２５ｍを使用

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

国土地理院の電子地形図25000を掲載「測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 4JHf 101」
「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」

江の川水系江の川
国管理河川からの氾濫を想定した
水害リスクマップ
【現況河道】
図面Ｎｏ．10　浸水発生

暫定版　浸水が想定される範囲を表示

1．説明文

（1）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／１０、１／３０、１／５０、計画規模（１／１００）、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生）を示した図面です。

（2）この水害リスクマップは、現況（令和２年度）の江の川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／１０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１０（１０%））、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３%））、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２%））、年超過確率１／１００（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１００（１%））、想定最大規模の降雨に伴う洪水により江の川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（3）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合あります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和４０年６月型、昭和４７年７月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

（4）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき令和２年６月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2．基本事項等

（1）公表年月日	令和４年９月２日
（2）作成主体及び対象となる河川	国土交通省　中国地方整備局　浜田河川国道事務所：江の川水系江の川
（3）実施区間	左岸：広島県安芸高田市八千代町大字土師字久保７５０番地先から海まで 右岸：広島県安芸高田市八千代町大字勝田字上谷２３２番地先から海まで
（4）算出の前提となる降雨	年超過確率１／　１０（江の川流域の２日間の総雨量　　１８８mm） 年超過確率１／　３０（江の川流域の２日間の総雨量　　２４６mm） 年超過確率１／　５０（江の川流域の２日間の総雨量　　２７７mm） 年超過確率１／１００（江の川流域の２日間の総雨量　　３２３mm）：計画規模 想定最大規模の降雨　（江の川流域の４８時間の総雨量　４４１mm）
（5）河道条件	現況（令和２年度）
（6）関係市町村	美郷町、邑南町
（7）その他計算条件等	計算メッシュ及び地盤高メッシュについては２５ｍを使用

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

凡例

想定される浸水範囲

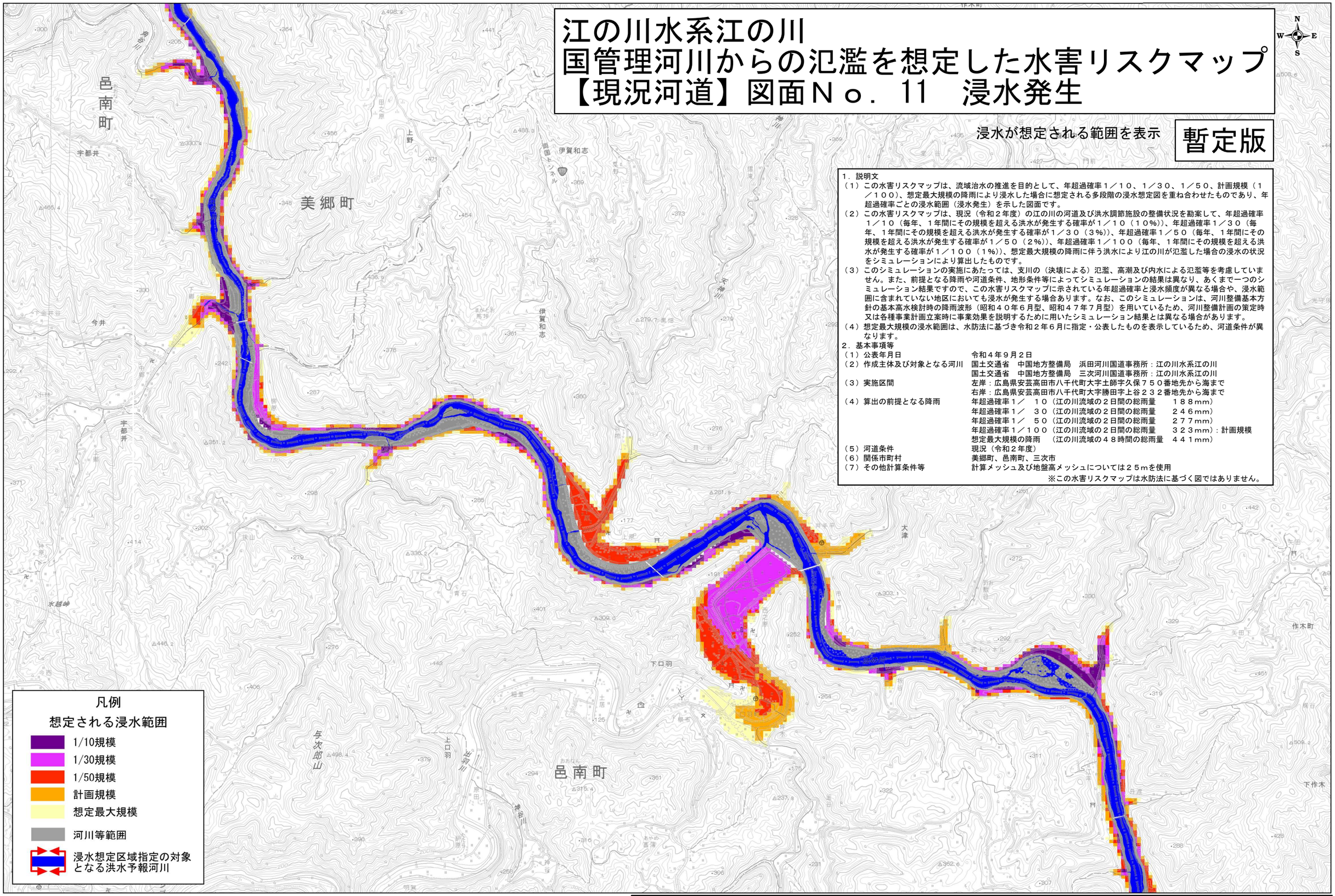
- 1/10規模
- 1/30規模
- 1/50規模
- 計画規模
- 想定最大規模
- 河川等範囲
- 浸水想定区域指定の対象となる洪水予報河川

国土地理院の電子地形図25000を掲載「測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 4JHf 101」
「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」

江の川水系江の川
国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ
【現況河道】図面Ｎｏ．11　浸水発生

浸水が想定される範囲を表示

暫定版



1．説明文

（１）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／１０、１／３０、１／５０、計画規模（１／１００）、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生）を示した図面です。

（２）この水害リスクマップは、現況（令和２年度）の江の川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／１０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１０（１０%））、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３%））、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２%））、年超過確率１／１００（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１００（１%））、想定最大規模の降雨に伴う洪水により江の川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（３）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合あります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和４０年６月型、昭和４７年７月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

（４）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき令和２年６月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2．基本事項等

（１）公表年月日	令和４年９月２日
（２）作成主体及び対象となる河川	国土交通省　中国地方整備局　浜田河川国道事務所：江の川水系江の川 国土交通省　中国地方整備局　三次河川国道事務所：江の川水系江の川
（３）実施区間	左岸：広島県安芸高田市八千代町大字土師字久保７５０番地先から海まで 右岸：広島県安芸高田市八千代町大字勝田字上谷２３２番地先から海まで
（４）算出の前提となる降雨	年超過確率１／　１０（江の川流域の２日間の総雨量　　１８８mm） 年超過確率１／　３０（江の川流域の２日間の総雨量　　２４６mm） 年超過確率１／　５０（江の川流域の２日間の総雨量　　２７７mm） 年超過確率１／１００（江の川流域の２日間の総雨量　　３２３mm）：計画規模 想定最大規模の降雨　（江の川流域の４８時間の総雨量　４４１mm）
（５）河道条件	現況（令和２年度）
（６）関係市町村	美郷町、邑南町、三次市
（７）その他計算条件等	計算メッシュ及び地盤高メッシュについては２５mを使用

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

国土地理院の電子地形図25000を掲載「測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 4JHf 101」
「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」

1．説明文

（１）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／１０、１／３０、１／５０、計画規模（１／１００）、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生）を示した図面です。

（２）この水害リスクマップは、現況（令和２年度）の江の川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／１０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１０（１０%））、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３%））、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２%））、年超過確率１／１００（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１００（１%））、想定最大規模の降雨に伴う洪水により江の川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（３）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合あります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和４０年６月型、昭和４７年７月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

（４）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき令和２年６月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2．基本事項等

（１）公表年月日	令和４年９月２日
（２）作成主体及び対象となる河川	国土交通省　中国地方整備局　浜田河川国道事務所：江の川水系江の川 国土交通省　中国地方整備局　三次河川国道事務所：江の川水系江の川
（３）実施区間	左岸：広島県安芸高田市八千代町大字土師字久保７５０番地先から海まで 右岸：広島県安芸高田市八千代町大字勝田字上谷２３２番地先から海まで
（４）算出の前提となる降雨	年超過確率１／　１０（江の川流域の２日間の総雨量　　１８８mm） 年超過確率１／　３０（江の川流域の２日間の総雨量　　２４６mm） 年超過確率１／　５０（江の川流域の２日間の総雨量　　２７７mm） 年超過確率１／１００（江の川流域の２日間の総雨量　　３２３mm）：計画規模 想定最大規模の降雨　（江の川流域の４８時間の総雨量　４４１mm）
（５）河道条件	現況（令和２年度）
（６）関係市町村	邑南町、三次市、安芸高田市
（７）その他計算条件等	計算メッシュ及び地盤高メッシュについては２５ｍを使用

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

凡例

想定される浸水範囲

- 1/10規模
- 1/30規模
- 1/50規模
- 計画規模
- 想定最大規模
- 河川等範囲
- 浸水想定区域指定の対象となる洪水予報河川

暫定版

浸水が想定される範囲を表示

江の川水系江の川 国管理河川からの氾濫を想定した 水害リスクマップ 【現況河道】図面Ｎｏ．12　浸水発生

国土地理院の電子地形図25000を掲載「測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 4JHf 101」
「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」

江の川水系江の川
国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ
【現況河道】図面Ｎｏ．13　浸水発生

浸水が想定される範囲を表示

暫定版

１．説明文

（１）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／１０、１／３０、１／５０、計画規模（１／１００）、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生）を示した図面です。

（２）この水害リスクマップは、現況（令和２年度）の江の川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／１０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１０（１０%））、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３%））、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２%））、年超過確率１／１００（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１００（１%））、想定最大規模の降雨に伴う洪水により江の川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（３）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合あります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和４０年６月型、昭和４７年７月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

（４）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき令和２年６月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

２．基本事項等

（１）公表年月日	令和４年９月２日
（２）作成主体及び対象となる河川	国土交通省　中国地方整備局　浜田河川国道事務所：江の川水系江の川 国土交通省　中国地方整備局　三次河川国道事務所：江の川水系江の川
（３）実施区間	左岸：広島県安芸高田市八千代町大字土師字久保７５０番地先から海まで 右岸：広島県安芸高田市八千代町大字勝田字上谷２３２番地先から海まで
（４）算出の前提となる降雨	年超過確率１／　１０（江の川流域の２日間の総雨量　　１８８mm） 年超過確率１／　３０（江の川流域の２日間の総雨量　　２４６mm） 年超過確率１／　５０（江の川流域の２日間の総雨量　　２７７mm） 年超過確率１／１００（江の川流域の２日間の総雨量　　３２３mm）：計画規模 想定最大規模の降雨　（江の川流域の４８時間の総雨量　４４１mm）
（５）河道条件	現況（令和２年度）
（６）関係市町村	三次市、安芸高田市
（７）その他計算条件等	計算メッシュ及び地盤高メッシュについては２５mを使用

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

凡例

想定される浸水範囲

- 1/10規模
- 1/30規模
- 1/50規模
- 計画規模
- 想定最大規模
- 河川等範囲
- 浸水想定区域指定の対象となる洪水予報河川

国土地理院の電子地形図25000を掲載「測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 4JHf 101」
「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」

江の川水系江の川
国管理河川からの氾濫を想定した
水害リスクマップ
【現況河道】
図面Ｎｏ．14　浸水発生

浸水が想定される範囲を表示

暫定版

１．説明文

（１）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／１０、１／３０、１／５０、計画規模（１／８０又は１／１００）、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生）を示した図面です。

（２）この水害リスクマップは、現況（令和２年度）の江の川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／１０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１０（１０%））、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３%））、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２%））、年超過確率１／８０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／８０（１．２５%））、年超過確率１／１００（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１００（１%））、想定最大規模の降雨に伴う洪水により江の川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（３）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合あります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和４０年６月型、昭和４７年７月型、平成１０年１０月型、平成１８年９月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

（４）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき令和２年６月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

２．基本事項等

（１）公表年月日	令和４年９月２日	
（２）作成主体及び対象となる河川	国土交通省　中国地方整備局　三次河川国道事務所：江の川水系江の川	
（３）実施区間	左岸：広島県安芸高田市八千代町大字土師字久保７５０番地先から海まで	
	右岸：広島県安芸高田市八千代町大字勝田字上谷２３２番地先から海まで	
（４）算出の前提となる降雨	年超過確率１／　１０（江の川流域の２日間の総雨量	１８８mm、
	江の川上流域の２日間の総雨量	１７９mm、
	江の川三川合流前上流域の２日間の総雨量	１９０mm）
	年超過確率１／　３０（江の川流域の２日間の総雨量	２４６mm、
	江の川上流域の２日間の総雨量	２３１mm、
	江の川三川合流前上流域の２日間の総雨量	２３８mm）
	年超過確率１／　５０（江の川流域の２日間の総雨量	２７７mm、
	江の川上流域の２日間の総雨量	２６０mm、
	江の川三川合流前上流域の２日間の総雨量	２６２mm）
	年超過確率１／　８０（江の川三川合流前上流域の２日間の総雨量	２８７mm）：計画規模
	年超過確率１／１００（江の川流域の２日間の総雨量	３２３mm、
	江の川上流域の２日間の総雨量	３０６mm）：計画規模
	想定最大規模の降雨　（江の川流域の４８時間の総雨量	４４１mm、
	江の川上流域の４８時間の総雨量	４７９mm）
（５）河道条件	現況（令和２年度）	
（６）関係市町村	三次市	
（７）その他計算条件等	計算メッシュ及び地盤高メッシュについては２５ｍを使用	

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

凡例

想定される浸水範囲

- 1/10規模
- 1/30規模
- 1/50規模
- 計画規模
- 想定最大規模
- 河川等範囲
- 浸水想定区域指定の対象となる洪水予報河川

国土地理院の電子地形図25000を掲載「測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 4JHf 101」
「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」

江の川水系江の川
国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ
【現況河道】図面Ｎｏ．15　浸水発生

暫定版

浸水が想定される範囲を表示

1．説明文

（１）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／１０、１／３０、１／５０、計画規模（１／８０又は１／１００）、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生）を示した図面です。

（２）この水害リスクマップは、現況（令和２年度）の江の川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／１０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１０（１０%））、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３%））、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２%））、年超過確率１／８０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／８０（１．２５%））、年超過確率１／１００（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１００（１%））、想定最大規模の降雨に伴う洪水により江の川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（３）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合あります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和４０年６月型、昭和４７年７月型、平成１０年１０月型、平成１８年９月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

（４）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき令和２年６月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

２．基本事項等

（１）公表年月日	令和４年９月２日	
（２）作成主体及び対象となる河川	国土交通省　中国地方整備局　三次河川国道事務所：江の川水系江の川	
（３）実施区間	左岸：広島県安芸高田市八千代町大字土師字久保７５０番地先から海まで	
	右岸：広島県安芸高田市八千代町大字勝田字上谷２３２番地先から海まで	
（４）算出の前提となる降雨	年超過確率１／　１０（江の川流域の２日間の総雨量	１８８mm、
	江の川上流域の２日間の総雨量	１７９mm、
	江の川三川合流前上流域の２日間の総雨量	１９０mm）
	年超過確率１／　３０（江の川流域の２日間の総雨量	２４６mm、
	江の川上流域の２日間の総雨量	２３１mm、
	江の川三川合流前上流域の２日間の総雨量	２３８mm）
	年超過確率１／　５０（江の川流域の２日間の総雨量	２７７mm、
	江の川上流域の２日間の総雨量	２６０mm、
	江の川三川合流前上流域の２日間の総雨量	２６２mm）
	年超過確率１／　８０（江の川三川合流前上流域の２日間の総雨量	２８７mm）：計画規模
	年超過確率１／１００（江の川流域の２日間の総雨量	３２３mm、
	江の川上流域の２日間の総雨量	３０６mm）：計画規模
	想定最大規模の降雨　（江の川流域の４８時間の総雨量	４４１mm、
	江の川上流域の４８時間の総雨量	４７９mm）
（５）河道条件	現況（令和２年度）	
（６）関係市町村	三次市	
（７）その他計算条件等	計算メッシュ及び地盤高メッシュについては２５ｍを使用	

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

凡例

想定される浸水範囲

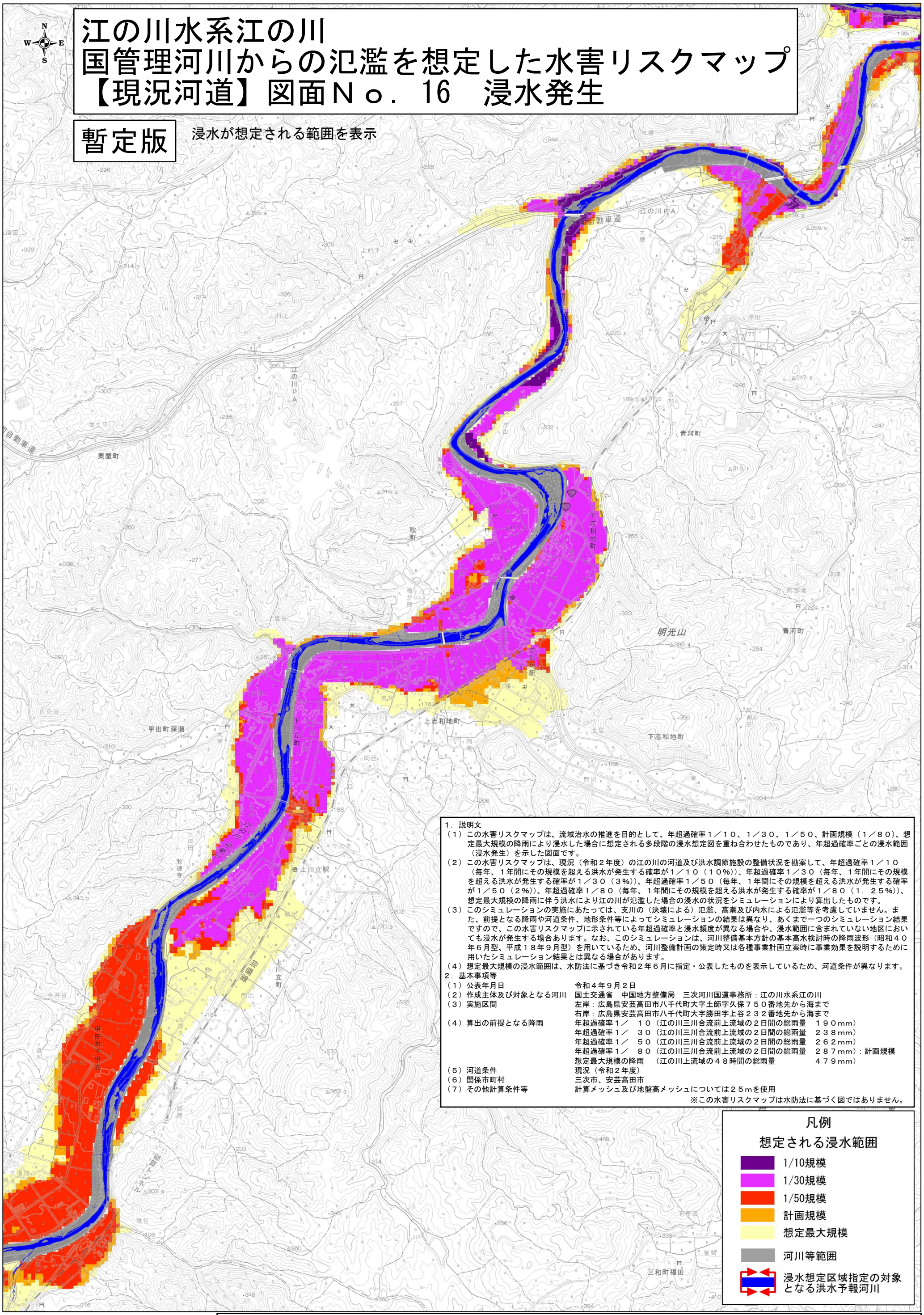
- 1/10規模
- 1/30規模
- 1/50規模
- 計画規模
- 想定最大規模
- 河川等範囲
- 浸水想定区域指定の対象となる洪水予報河川

国土地理院の電子地形図25000を掲載「測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 4JHf 101」
「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」

江の川水系江の川
国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ
【現況河道】図面Ｎｏ．16　浸水発生

暫定版

浸水が想定される範囲を表示



1．説明文

（1）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／１０、１／３０、１／５０、計画規模（１／８０）、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生）を示した図面です。

（2）この水害リスクマップは、現況（令和２年度）の江の川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／１０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１０（１０%））、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３%））、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２%））、年超過確率１／８０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／８０（１．２５%））、想定最大規模の降雨に伴う洪水により江の川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（3）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合あります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和４０年６月型、平成１８年９月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

（4）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき令和２年６月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2．基本事項等

（1）公表年月日	令和４年９月２日
（2）作成主体及び対象となる河川	国土交通省　中国地方整備局　三次河川国道事務所：江の川水系江の川
（3）実施区間	左岸：広島県安芸高田市八千代町大字土師字久保７５０番地先から海まで 右岸：広島県安芸高田市八千代町大字勝田字上谷２３２番地先から海まで
（4）算出の前提となる降雨	年超過確率１／　１０（江の川三川合流前上流域の２日間の総雨量　１９０mm） 年超過確率１／　３０（江の川三川合流前上流域の２日間の総雨量　２３８mm） 年超過確率１／　５０（江の川三川合流前上流域の２日間の総雨量　２６２mm） 年超過確率１／　８０（江の川三川合流前上流域の２日間の総雨量　２８７mm）：計画規模 想定最大規模の降雨　（江の川上流域の４８時間の総雨量　４７９mm）
（5）河道条件	現況（令和２年度）
（6）関係市町村	三次市、安芸高田市
（7）その他計算条件等	計算メッシュ及び地盤高メッシュについては２５ｍを使用

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

凡例

想定される浸水範囲

- 1/10規模
- 1/30規模
- 1/50規模
- 計画規模
- 想定最大規模
- 河川等範囲
- 浸水想定区域指定の対象となる洪水予報河川

国土地理院の電子地形図25000を掲載「測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 4JHf 101」
「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」

江の川水系江の川
国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ
【現況河道】図面Ｎｏ．17　浸水発生

暫定版

浸水が想定される範囲を表示

１．説明文

（１）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／１０、１／３０、１／５０、計画規模（１／８０）、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生）を示した図面です。

（２）この水害リスクマップは、現況（令和２年度）の江の川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／１０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１０（１０%））、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３%））、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２%））、年超過確率１／８０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／８０（１．２５%））、想定最大規模の降雨に伴う洪水により江の川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（３）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合あります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和４０年６月型、昭和４７年７月型、平成１８年９月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

（４）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき令和２年６月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

２．基本事項等

（１）公表年月日	令和４年９月２日
（２）作成主体及び対象となる河川	国土交通省　中国地方整備局　三次河川国道事務所：江の川水系江の川
（３）実施区間	左岸：広島県安芸高田市八千代町大字土師字久保７５０番地先から海まで 右岸：広島県安芸高田市八千代町大字勝田字上谷２３２番地先から海まで
（４）算出の前提となる降雨	年超過確率１／　１０（江の川三川合流前上流域の２日間の総雨量　１９０mm） 年超過確率１／　３０（江の川三川合流前上流域の２日間の総雨量　２３８mm） 年超過確率１／　５０（江の川三川合流前上流域の２日間の総雨量　２６２mm） 年超過確率１／　８０（江の川三川合流前上流域の２日間の総雨量　２８７mm）：計画規模 想定最大規模の降雨　（江の川上流域の４８時間の総雨量　４７９mm）
（５）河道条件	現況（令和２年度）
（６）関係市町村	三次市、安芸高田市
（７）その他計算条件等	計算メッシュ及び地盤高メッシュについては２５ｍを使用

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

凡例

想定される浸水範囲

- 1/10規模
- 1/30規模
- 1/50規模
- 計画規模
- 想定最大規模
- 河川等範囲
- 浸水想定区域指定の対象となる洪水予報河川

国土地理院の電子地形図25000を掲載「測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 4JHf 101」
「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」

江の川水系江の川　国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ
【現況河道】図面Ｎｏ．18　浸水発生

暫定版

浸水が想定される範囲を表示

１．説明文

（１）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／１０、１／３０、１／５０、計画規模（１／８０）、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生）を示した図面です。

（２）この水害リスクマップは、現況（令和２年度）の江の川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／１０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１０（１０%））、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３%））、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２%））、年超過確率１／８０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／８０（１．２５%））、想定最大規模の降雨に伴う洪水により江の川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（３）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和４０年６月型、昭和４７年７月型、平成１８年９月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

（４）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき令和２年６月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

２．基本事項等

（１）公表年月日	令和４年９月２日
（２）作成主体及び対象となる河川	国土交通省　中国地方整備局　三次河川国道事務所：江の川水系江の川
（３）実施区間	左岸：広島県安芸高田市八千代町大字土師字久保７５０番地先から海まで 右岸：広島県安芸高田市八千代町大字勝田字上谷２３２番地先から海まで
（４）算出の前提となる降雨	年超過確率１／　１０（江の川三川合流前上流域の２日間の総雨量　１９０mm） 年超過確率１／　３０（江の川三川合流前上流域の２日間の総雨量　２３８mm） 年超過確率１／　５０（江の川三川合流前上流域の２日間の総雨量　２６２mm） 年超過確率１／　８０（江の川三川合流前上流域の２日間の総雨量　２８７mm）：計画規模 想定最大規模の降雨　（江の川上流域の４８時間の総雨量　４７９mm）
（５）河道条件	現況（令和２年度）
（６）関係市町村	安芸高田市
（７）その他計算条件等	計算メッシュ及び地盤高メッシュについては２５ｍを使用

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

凡例

想定される浸水範囲

- 1/10規模
- 1/30規模
- 1/50規模
- 計画規模
- 想定最大規模
- 河川等範囲
- 浸水想定区域指定の対象となる洪水予報河川

国土地理院の電子地形図25000を掲載「測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 4JHf 101」
「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」

江の川水系江の川　国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ【現況河道】図面Ｎｏ．19　浸水発生

暫定版

浸水が想定される範囲を表示

1．説明文

（1）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／１０、１／３０、１／５０、計画規模（１／８０）、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生）を示した図面です。

（2）この水害リスクマップは、現況（令和２年度）の江の川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／１０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１０（１０%））、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３%））、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２%））、年超過確率１／８０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／８０（１．２５%））、想定最大規模の降雨に伴う洪水により江の川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（3）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合あります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和４７年７月型、平成１８年９月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

（4）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき令和２年６月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2．基本事項等

（1）公表年月日	令和４年９月２日
（2）作成主体及び対象となる河川	国土交通省　中国地方整備局　三次河川国道事務所：江の川水系江の川
（3）実施区間	左岸：広島県安芸高田市八千代町大字土師字久保７５０番地先から海まで 右岸：広島県安芸高田市八千代町大字勝田字上谷２３２番地先から海まで
（4）算出の前提となる降雨	年超過確率１／　１０（江の川三川合流前上流域の２日間の総雨量　１９０mm） 年超過確率１／　３０（江の川三川合流前上流域の２日間の総雨量　２３８mm） 年超過確率１／　５０（江の川三川合流前上流域の２日間の総雨量　２６２mm） 年超過確率１／　８０（江の川三川合流前上流域の２日間の総雨量　２８７mm）：計画規模 想定最大規模の降雨　（江の川上流域の４８時間の総雨量　４７９mm）
（5）河道条件	現況（令和２年度）
（6）関係市町村	安芸高田市
（7）その他計算条件等	計算メッシュ及び地盤高メッシュについては２５ｍを使用

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

凡例

想定される浸水範囲

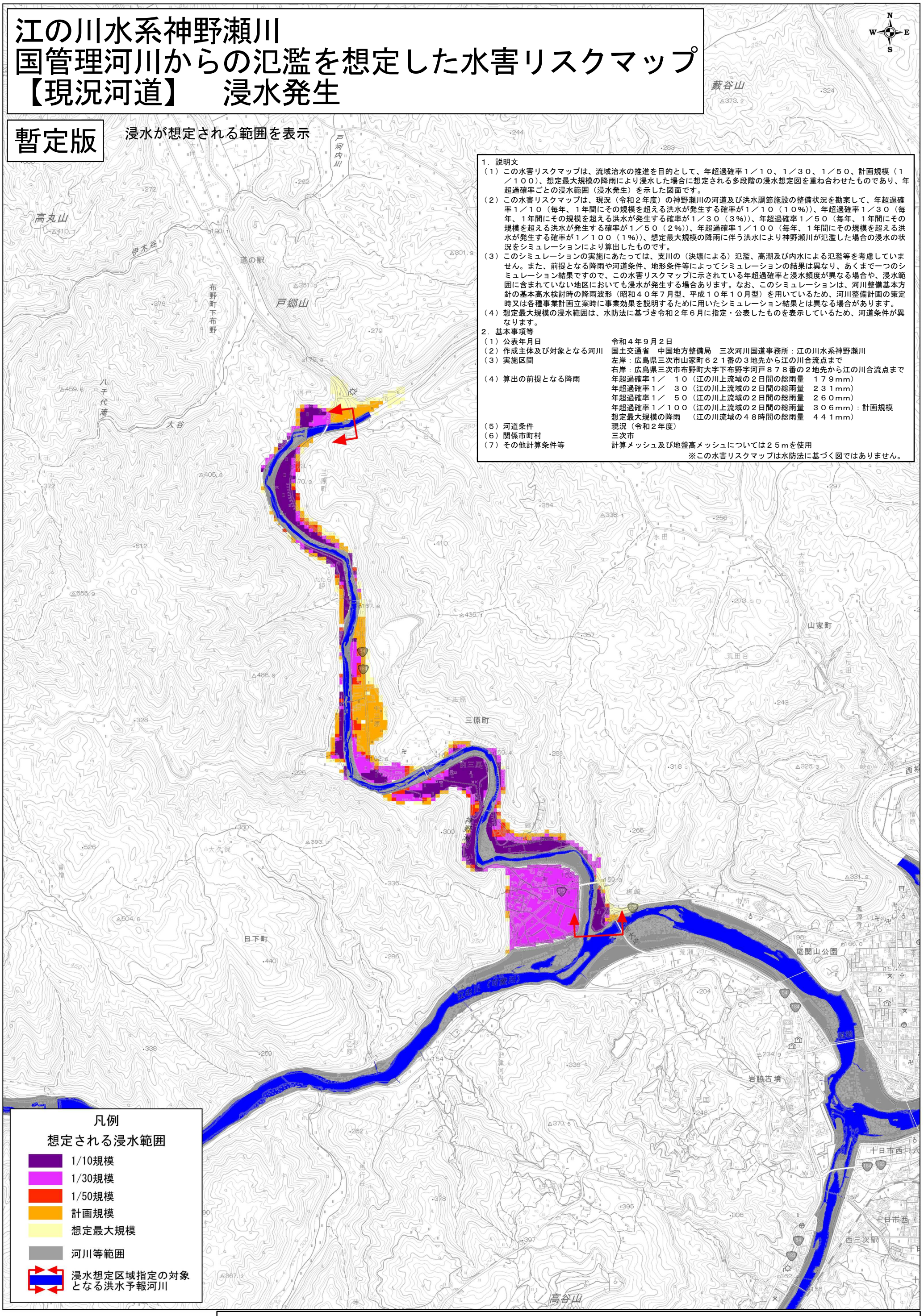
- 1/10規模
- 1/30規模
- 1/50規模
- 計画規模
- 想定最大規模
- 河川等範囲
- 浸水想定区域指定の対象となる洪水予報河川

国土地理院の電子地形図25000を掲載「測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 4JHf 101」
「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」

江の川水系神野瀬川
国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ
【現況河道】　浸水発生

暫定版

浸水が想定される範囲を表示



1．説明文

（1）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／１０、１／３０、１／５０、計画規模（１／１００）、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生）を示した図面です。

（2）この水害リスクマップは、現況（令和２年度）の神野瀬川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／１０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１０（１０%））、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３%））、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２%））、年超過確率１／１００（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１００（１%））、想定最大規模の降雨に伴う洪水により神野瀬川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（3）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合あります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和４０年７月型、平成１０年１０月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

（4）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき令和２年６月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2．基本事項等

（1）公表年月日	令和４年９月２日
（2）作成主体及び対象となる河川	国土交通省　中国地方整備局　三次河川国道事務所：江の川水系神野瀬川
（3）実施区間	左岸：広島県三次市山家町６２１番の３地先から江の川合流点まで 右岸：広島県三次市布野町大字下布野字河戸８７８番の２地先から江の川合流点まで
（4）算出の前提となる降雨	年超過確率１／　１０（江の川上流域の２日間の総雨量　１７９mm） 年超過確率１／　３０（江の川上流域の２日間の総雨量　２３１mm） 年超過確率１／　５０（江の川上流域の２日間の総雨量　２６０mm） 年超過確率１／１００（江の川上流域の２日間の総雨量　３０６mm）：計画規模 想定最大規模の降雨　（江の川流域の４８時間の総雨量　４４１mm）
（5）河道条件	現況（令和２年度）
（6）関係市町村	三次市
（7）その他計算条件等	計算メッシュ及び地盤高メッシュについては２５ｍを使用

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

国土地理院の電子地形図25000を掲載「測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 4JHf 101」
「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」

江の川水系馬洗川　国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ
【現況河道】　浸水発生

暫定版

浸水が想定される範囲を表示

1．説明文

（1）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／１０、１／３０、１／５０、計画規模（１／１００）、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生）を示した図面です。

（2）この水害リスクマップは、現況（令和２年度）の馬洗川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／１０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１０（１０%））、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３%））、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２%））、年超過確率１／１００（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１００（１%））、想定最大規模の降雨に伴う洪水により馬洗川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（3）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合あります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和４０年６月型、昭和４７年７月型、平成１０年１０月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

（4）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき令和２年６月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2．基本事項等

（1）公表年月日	令和４年９月２日
（2）作成主体及び対象となる河川	国土交通省　中国地方整備局　三次河川国道事務所：江の川水系馬洗川
（3）実施区間	左岸：広島県三次市南畑敷町字下掛原７４３番地先から江の川合流点まで 右岸：広島県三次市四十貫町字樋の尻２７３番地先から江の川合流点まで
（4）算出の前提となる降雨	年超過確率１／　１０（江の川上流域の２日間の総雨量　　１７９mm） 年超過確率１／　３０（江の川上流域の２日間の総雨量　　２３１mm） 年超過確率１／　５０（江の川上流域の２日間の総雨量　　２６０mm） 年超過確率１／１００（江の川上流域の２日間の総雨量　　３０６mm）：計画規模 想定最大規模の降雨　（江の川上流域の４８時間の総雨量　４７９mm）
（5）河道条件	現況（令和２年度）
（6）関係市町村	三次市
（7）その他計算条件等	計算メッシュ及び地盤高メッシュについては２５mを使用

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

凡例

想定される浸水範囲

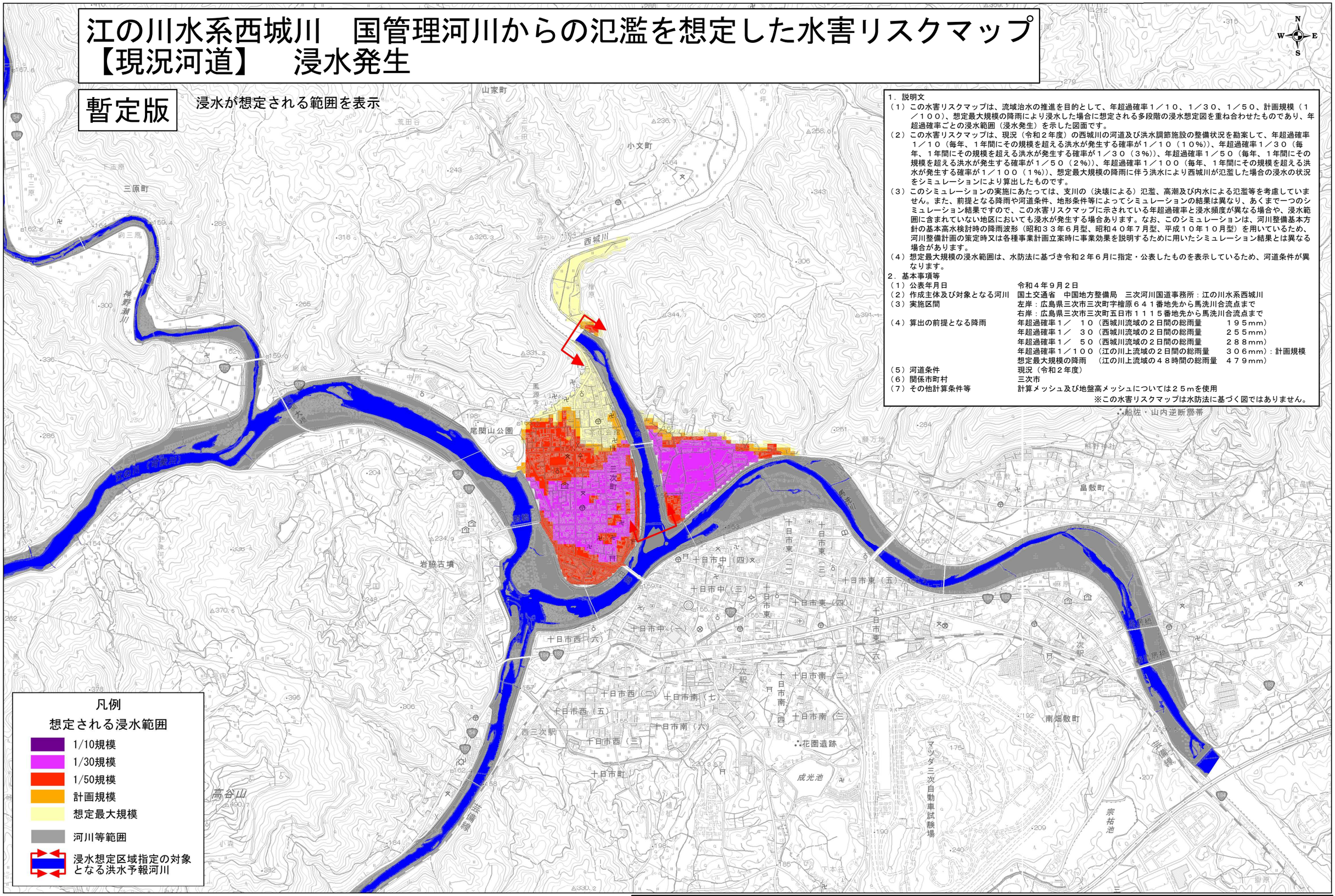
- 1/10規模
- 1/30規模
- 1/50規模
- 計画規模
- 想定最大規模
- 河川等範囲
- 浸水想定区域指定の対象となる洪水予報河川

国土地理院の電子地形図25000を掲載「測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 4JHf 101」
「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」

江の川水系西城川　国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ【現況河道】　浸水発生

暫定版

浸水が想定される範囲を表示



1．説明文

（１）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／１０、１／３０、１／５０、計画規模（１／１００）、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生）を示した図面です。

（２）この水害リスクマップは、現況（令和２年度）の西城川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／１０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１０（１０%））、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３%））、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２%））、年超過確率１／１００（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１００（１%））、想定最大規模の降雨に伴う洪水により西城川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（３）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合あります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和３３年６月型、昭和４０年７月型、平成１０年１０月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

（４）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき令和２年６月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2．基本事項等

（１）公表年月日	令和４年９月２日
（２）作成主体及び対象となる河川	国土交通省　中国地方整備局　三次河川国道事務所：江の川水系西城川
（３）実施区間	左岸：広島県三次市三次町字檜原６４１番地先から馬洗川合流点まで 右岸：広島県三次市三次町五日市１１１５番地先から馬洗川合流点まで
（４）算出の前提となる降雨	年超過確率１／　１０（西城川流域の２日間の総雨量　１９５mm） 年超過確率１／　３０（西城川流域の２日間の総雨量　２５５mm） 年超過確率１／　５０（西城川流域の２日間の総雨量　２８８mm） 年超過確率１／１００（江の川上流域の２日間の総雨量　３０６mm）：計画規模 想定最大規模の降雨　（江の川上流域の４８時間の総雨量　４７９mm）
（５）河道条件	現況（令和２年度）
（６）関係市町村	三次市
（７）その他計算条件等	計算メッシュ及び地盤高メッシュについては２５mを使用

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

国土地理院の電子地形図25000を掲載「測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 4JHf 101」
「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」